

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	老人保健施設なごみの里	階数	地上4F地下1F
建設地	相模原市緑区牧野字尾垂8110番地	構造	RC造
用途地域	都市計画地域外	平均居住人員	200人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年3月 0.0	評価の実施日	2011年9月30日
敷地面積	7,230 m <sup>2</sup>	作成者	東海設備
建築面積	1,385 m <sup>2</sup>	確認日	2011年10月1日
延床面積	5,216 m <sup>2</sup>	確認者	(株)草野建築設計事務所



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.9

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

建設	59%
修繕・更新・解体	58%
運用	58%
オンサイト	
オフサイト	

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.1

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

音環境	3.3
温熱環境	3.2
光・視環境	3.6
空気質環境	3.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

機能性	4.0
耐用性・信頼性	3.6
対応性・更新性	2.7

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

生物環境	2.0
まちなみ・景観	2.0
地域性・アメニティ	2.5

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.9

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

建物の熱負荷	4.7
自然エネルギー	4.0
設備システム効率化	5.0
効率的運用	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

水資源保護	3.0
非再生材料の使用削減	4.0
汚染物質回避	3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

地球温暖化への配慮	4.6
地域環境への配慮	3.1
周辺環境への配慮	3.1

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> RC造地下1階地上4階建ての建物であり、自然の色になじむアースカラーの採用で、地域に密着した建物である。		特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 床、壁、天井及び界壁等、遮音性・安全性に考慮しており、換気・空調も確保しているため、快適な居住環境を確保している。	<b>Q2 サービス性能</b> 療養室面積も十分確保し、建物内はバリアフリーとすることで快適性を求めた。更に設備面では、空調・換気が十分確保されているため非常に快適である。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 広い敷地の中で駐車場も平面的に十分確保し、緑地を十分確保できる環境であり、RC造地下1階地上4階建建物にマッチした環境である。
<b>LR1 エネルギー</b> 太陽光発電を設置することにより、省エネルギーを実現する。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 再生骨材、陶磁器タイル、床シート、断熱材などリサイクル資材を使用することで、環境保全に努める。	<b>LR3 敷地外環境</b> 駐車スペースを確保することで閑静な環境を確保している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい